

第 91 回つくば中央メーデー

応援メッセージ（ご来賓）

(1) つくば市長 五十嵐 立青 殿

この度は、新型コロナウイルス感染症の影響で第 91 回つくば中央メーデーが開催中止となり、非常に残念です。

現在、つくば市のみならず、日本中、世界中で新しいウイルスに立ち向かっています。社会的不安が大きくなってきた今こそ、一人ひとりの力がとても大切です。

つくば市の発展は、労働者のみなさんに日々支えられています。市は、みなさんの生活を守り、命を守るために、今後も全力で取り組みを進めていきます。

緊急事態宣言があける 5 月 7 日の朝を、みなさんと一緒に笑顔で迎えられることを確信しています。ともに乗り越えましょう。



(2) 土浦市長 安藤 真理子 殿

第 91 回つくば中央メーデー実行委員会の皆様におかれましては、日頃より生活者・労働者・研究者の皆様の環境改善にご尽力されており、心から敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、第 91 回つくば中央メーデーの開催が中止となりましたことは大変残念ではありますが、今こそ私たちが一致団結し、協力して感染症対策に臨むことで、この苦境を乗り越えられると信じております。

皆様のご健康と今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。



(3) 筑西市市長 須藤 茂 殿

つくば中央メーデー実行委員会の皆さまには、日頃より御活躍いただいておりますことに対し、心より感謝申し上げます。

さて、現在「新型コロナウイルス」の感染が世界中に拡大し、私たちの命・生活・労働環境の危機に直面している状況が続いております。

今こそが、一人ひとりが力を合わせこの状況を乗り切る時であります。労働者の皆さまが安心して働ける社会を守り、安心して暮らしていただけますよう、さらに皆で団結して打ち勝っていきましょう。

つくば中央メーデー実行委員会の今後ますますの御発展と、皆様方の御健勝、御活躍をお祈り申し上げます。



(4) 稲敷市長 笥 信太郎 殿

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より当市政運営に対しまして、格別の御高配を賜り深く感謝申し上げます。

また、皆様方におかれましては、日頃より労働環境の向上のため、そして安心安全な社会の実現に向

けた取り組みにもご尽力いただいておりますことに、改めて敬意を表する次第であります。

さて、このたびの第91回つくば中央メーデーの開催につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となりましたことは誠に残念なことであり、開催に向けぎりぎりまで準備を進めてこられました貴委員会にとりましては苦渋の決断であったらと推察します。

いまだ新型コロナウイルスの感染拡大の収束が見えない状況ではありますが、皆様におかれましては、くれぐれも健康にご自愛いただくとともに、今後とも誰もが希望の持てる社会の実現に向け、益々ご活躍されますことをお祈り申し上げます。



(5) 利根町長 佐々木 喜章 殿

本日、ここに謹んで第91回つくば中央メーデーを、お祝い申し上げます。

永年にわたり、職場環境改善や市民生活向上の活動に取り組まれている実行委員長をはじめ、組合員の皆様の日々のご尽力に対し、深く敬意を表します。

私たちの生活や労働環境に対する悪影響を、最小限に抑えるため、今後とも、限りない発展を続けられますことを心よりお祈り申し上げ、メッセージとさせていただきます。



(6) 美浦村長 中島 栄 殿

日頃より、皆様には、すべての働く人々とその家族のために幅広い活動を展開されていることに、改めて深く敬意を表します。

例年盛大に開催されてきました労働者の祭典であるメーデーが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、中止となり大変残念に思います。今改めてこの感染症の未曾有の脅威が私たちの社会生活・経済活動に与える影響の大きさを実感しております。感染拡大防止に向け、改めてそれぞれの立場において、安全・安心な暮らしを守るため取り組んでいくことが重要であると思えます。

さて、我が国は、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少・育児や介護との両立など、働く方のニーズの多様化などの状況に直面しております。

このような中、投資やイノベーションによる生産性向上とともに、就職機会の拡大や意欲・能力を存分に発揮できる環境を作ることが課題となっております。

このような課題の解決のため、働き方改革により働く方の置かれた個々の事情に応じ、多様な働き方を選択できる社会を実現し、働く方々一人ひとりがより良い将来の展望を持てるよう期待しております。結びに、皆様のますますのご活躍とご健勝を心から祈念申し上げ、メッセージとさせていただきます。



(7) 常総市長 神達 岳志 殿

第91回つくば中央メーデーの開催中止、誠に残念に思います。

活力ある社会そして地域をけん引しているのは労働者の皆様の力です。今後さらに経済の好循環とともに、発展し続ける社会の実現のため、皆様の運動とご活躍を祈念いたします。



(8) 中央労働金庫つくば支店長 清水 真 殿

拝啓 春暖の候、皆様ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、心から感謝いたしております。

さて、新型コロナウイルスが猛威を振るい世界中に感染が拡大しております。4月7日には政府から緊急事態宣言が発令されました。対象区域には入っておりませんが、茨城県内においても日々感染者が増加し続けている現状であります。

我々ろうきんも職員一同マスクを着用し、皆様のご安全を最優先に考えながら営業を続けておりますが、平常時とは違う様々な制限を設けた中での活動となり、常にやりづらさや不安を抱えながらの営業となっております。

皆様におかれましても、生活を守るため、職場環境を守るため、日々様々な苦境・不安と闘っていらっしゃるかと拝察いたします。こんな時だからこそ労働組合の皆様・家族の皆様・職場の皆様、一致団結してお互いを助け合いながら困難を乗り越えていただきたいと思っております。一日も早い新型コロナウイルスの終息を願うばかりであります。

ろうきんはこれからも皆様の生活応援をさせていただくために尽力してまいります。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

敬具



(9) こくみん共済 COOP 茨城推進本部長 打越 秋一 殿

日頃より全労災の事業と運動にご理解ご協力をいただいていることに心から御礼申し上げます。

さて、私ども全労災は、2018年度～2021年度中期経営政策における「New-Zetwork」にもとづき、創立60周年を迎えた全労災が「原点回帰」と「新陳代謝」をはかることで「新生・全労済」を創造してまいります。さらに、「お役立ち」発想と「共創」活動にもとづく新たな事業の運動のモデルとなる「ZetWorkスタイル」を実践していくため、2019年6月より全労済は新たに「こくみん共済 COOP」を愛称として定め、活動を展開することとしました。

これからも労働者自主福祉を核都市、さらにその取り組みを広げていくため、「共済」を通じて人と人との「たすけあいの輪」をむすび、「安心のネットワーク」を広げてまいりますので、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



(10) 日本共産党つくば市議 滝口 隆一 殿

2020年メーデーは新型コロナの影響で集会は中止となりましたが、働く者のくらしを守り、権利を拡大するたたかいは引き続き取り組まれていきます。新型コロナでは感染拡大を防止するための国民共同の取り組みが必要であることは言うまでもありません。

新型コロナによる経済的なダメージは、とりわけ非正規労働者・フリーランスや飲食店などの商業者に大きく表れてきています。そんな中で労働団体や国民の大きな取り組みが政府を動かし、渋ってきた国民一人当たり10万円給付が実現となってきました。自粛するなら補償をセットにという運動も強まってきました。つくば市独自にも、飲食業や宿泊業に手当てをする意向が示されました。

運動団体のがんばり時です。

平和と憲法を守る国民のたたかいをさらに前進させることを願っています。

2020 メーデー万歳

